

玉教再第 17 号  
令和 7 年 9 月 22 日

学校統廃合を考える会

共同代表 前川 守 様  
松田 達雄 様  
白神 みどり 様

玉野市教育委員会教育長

学校統廃合に関する再度の公開質問書への回答について

令和 7 年 8 月 28 日付で提出された、学校統廃合に関する再度の公開質問書について、下記のとおり回答いたします。

#### 記

##### 回答①

宇野中、玉中、日比中の再編に係る地域住民を対象とした説明会については、地域の実情をよく把握されている自治会長に有効な周知方法を相談させていただき実施したところで、全自治会のうち、広報誌へ開催案内を織り込み全戸配布する 1 自治会に対しては、5 月 16 日に資料を持参しお願いしたところであり、また、回覧により周知した自治会は 16 自治会となっています。

市ホームページへは、5 月 26 日に開催案内を掲載しています。

また、当該周知以外については、自治会長の独自判断となるので、事務局としては把握していない状況であります。

地域住民への案内がどの程度行き渡っているかについては、自治会長に相談した手法で周知しておりますことから、一定程度の周知が図られていると認識しています。

また、再編に係る説明会は、保護者と地域住民を対象に、計 16 箇所できめ細やかに実施し、一定程度のご理解をいただいた上で、7 月に再編準備委員会を設置し、具体的な再編に向けて保護者等のご意見をいただきながら進めており、現段階で中止することは困難であります。

##### 回答②

宇野中・玉中・日比中の再編に係る地域住民を対象とした説明会では、その場でご発言いただけなかった方のご意見をいただくために、アンケートを実施したところです。このア

ンケートでは、賛成や反対といったご意見や、再編に対する要望など様々な記載がいただいております。再編準備委員会設置に向けての参考としたところですが、当該アンケートは説明会でも公表を前提としていると参加者の方へ説明していないことから対外的にお示しすることは控えさせていただきたいと考えています。

また、3校の再編については、10の小中学校の保護者114名の方にご参加いただいております。対象となる全保護者は兄弟姉妹関係があるため正確な人数は不明であるが、参考まで再編に係る児童生徒総数は令和7年5月1日現在で1,597名である。

会議録については、会議全体でやりとりをご理解いただける概要を作成し公表しています。

### 回答③

昨年度、令和7年度入学児童生徒に対して、教育委員会から指定校変更を促すことはしていません。計画が策定された場合を見据えて、保護者・児童生徒の希望に沿った柔軟な対応ができるよう、統合予定の学校への就学を希望する場合、申請基準等を満たしていれば許可をしたものです。

指定校変更届けの提出期限を令和6年12月27日まで延期した理由ですが、地域説明会での説明を聞いていただき、指定校変更について検討する時間を確保するための配慮として延長したものです。学校再編の地域説明会の最終日が11月2日で、地域説明会後に再度修正案が出ることとなり、修正案を確認した上で再度検討していただく必要があったため、当初予定の11月8日締切では難しい状況となりました。児童生徒にとって重要で大きな決断となることから、ある程度考える時間が必要であると考えた上での対応です。

宇野中への学校再編を理由とした指定校変更申請数は、令和6年11月8までは20件、その後、令和6年12月27日までは2件ありました。

変更理由ごとの宇野中へ指定校を変更した生徒数の内訳ですが、教育的配慮は申請数24件、就学数21件、その内、学校再編によるものは申請数22件、就学数19件、集団教育が申請11件、就学数10件、部活動が申請数・就学数ともに4件、その他が申請数・就学数ともに1件となっております。（※私立等への就学があるため、申請数と就学数は一致しません）

学校再編を理由とした指定校変更については、学校再編の動きの中で、児童生徒・保護者が先を見据えて希望したもので、教育的配慮として柔軟に対応し、許可基準に則って許可しております。その際の、対応や手続きについても、規定の指定校変更方法に準じて適切に行われており、ルール違反には該当しないと考えております。

### 回答④

令和7年3月に「玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画」を策定し、当該計画に基づき宇野・玉・日比中の再編を進めるためには、様々な項目について、多くの保護者や地域の

皆様のご意見をいただきながら進める必要があります。令和9年4月からの再編を見据えると、できるだけ早い段階に、再編準備委員会を設置し、地域の皆様と協議を進める必要があります。そのためには、早急な日程調整が必要であり、各地域の自治会長のお知恵を賜りながらの周知や参観日に日程をあわせるなど、できるだけ多くの皆様にご参加いただくための工夫をしながら開催したところですが、広報紙については、2ヶ月前に記事を作成する必要があるなど時間的な制約があり掲載することが困難な状況でありました。

#### 回答⑤

「玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会」の答申に基づき、中学校の再編は「1学年3学級以上」を目指した再編計画としていますが、玉中・日比中、山田中・東兎中は、すでに1学年単学級であり、早期に再編を進める必要があるため延期していませんが、八浜中の生徒の推計値では、全学年単学級となる時期は令和15年度であったことから、他の学校と同じ全学年単学級になるまで再編を延期したものです。

東兎中・山田中の統合については、1学年1学級の小規模である状況は続きますが、市東部への中学校の適正配置の視点からの再編計画となっております。クラス替えができないことや、教員数が限られるため、教科団の編成が難しいこと等の課題はありますが、現在の東兎中・山田中の両校の取組を活かしながら、小規模校のメリットを最大化しつつ、地域の特性や学校の特色をいかした教育を充実させていくための学校の取組を支援していきたいと考えています。

#### 回答⑥

宇野中学校の校舎は耐震性には問題なく、災害時の避難行動等も含めて、どの学校を活用すべきかを勘案し、現在の宇野中学校の校舎を活用する計画としています。災害時には、避難マニュアルに基づいた避難行動をとることができるように、学校において日頃から防災訓練等をしっかりと実施していきます。

#### 回答⑦

「玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画」については、「玉野市総合計画」の分野別計画に基づき策定した計画として位置づけ、再編を進めていくこととしています。玉野市総合計画の「第3期たまの長期人口ビジョン」と「玉野市立適正規模・適正配置計画」の児童・生徒の推計値は、計画の策定年度や算出方法、対象者の範囲が異なるため、一定程度の乖離が生じています。しかし、当該計画は、総合計画の施策体系にも位置づけられている「教育環境の充実」の実現を図るため、「子どもたちにとって、より良い教育環境とするために、学校はどうあるべきか」という教育的な視点を第一に考え、適正な学校規模と学校配置を進めるためのものであり、こうした教育環境の充実を図っていくことが、玉野市の将来像「誰もが行ってみたい、住み続けたいまち」の実現に繋がっていくものと考えています。